

平成27年3月：第393回 大野市議会定例会

代表質問 3月9日（月） 午前

質問者	質問概要
松 田 （ 創 生 お お の ）	<p><b>1 新年度予算編成について</b></p>
	<p>○新年度予算編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15年度予算編成に当たり、財政の状況と健全化についてどのように考えるか。</li> </ul> <p>○下水道事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業自体が計画どおりに行われているのか。また、加入率の低下と設備費用が拡大傾向にあることをどのように考えるか。</li> </ul>
	<p><b>2 人口減少対策について</b></p>
	<p>○人口減少対策は地方創生の一丁目一番地であり、どのような姿勢で臨むのか。</p> <p>○大野市との相互連携協定を結んだ㈱電通は、大野市の人口減少対策にどのようにかわり、その規模はどのようになるのか。</p> <p>○人口減少対策と地方創生に貢献する、魅力ある学校教育とはどのような教育か。</p> <p>○人口減少対策と地方創生に貢献する魅力ある子ども・子育て支援とはどのような支援か。</p>
	<p><b>3 重点道の駅「結の故郷」について</b></p>
<p>○従来の「まるごと道の駅」構想と異なる内容になっているが、決まるまでの経緯について報告願う。</p> <p>○この道の駅が道の駅周辺と中心市街地やその周辺に与える経済効果についてどのように考えるか。</p>	
<p><b>4 産業が元気について</b></p>	
<p>○越前おおの型農業の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生のためには、環境調和型農業は極めて重要であるがどのように推進していくのか。</li> </ul> <p>○大野市の産業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大野市の産業構造をどのように捉え、どのような成長戦略を立てればいいのか。</li> <li>・若者や女性の働く場の創出に向けて、地方創生や人口減少対策の観点でどのようにして実現していくのか。</li> </ul> <p>○中心市街地活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住人口減少問題から中心市街地の創生を考えるとできないのか。</li> <li>・まちづくり会社の現在の活動状況と、これからの役割と会社の方向性についてどのように捉えればいいのか。</li> </ul> <p>○旧和泉村の振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特用林産物「まいたけ」の生産加工施設の新工場の果たす役割は何か。</li> <li>・まるごと道の駅構想と道の駅九頭竜との連携をどのように考えるか。</li> </ul>	
<p><b>5 小中学校の学校再編問題について</b></p>	
<p>○学校教育審議会が学校再編計画が審議され11月に答申がなされ、素案が出来上がったと聞いているが、素案の要点について報告願う。</p> <p>○地方創生や校区単位の地域づくりなどの観点についてはどのような議論がなされたか。</p>	

質問者	質問概要
島 □(新生おおの)	<b>1 地方創生と人口減少対策について</b>
	<p>○地方創生と人口減少対策の取り組みをどのように進めていくのか。</p> <p>○地方版の「地方人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定はどうするのか。</p> <p>○第五次大野市総合計画後期基本計画との整合性をどのように図るのか。</p>
	<b>2 越前おおの総ブランド化について</b>
	<p>○越前おおの総ブランド化のこれまでの成果と進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>○今後は、具体的にどのような取り組みをしていくのか。</p>
	<b>3 中部縦貫自動車道の整備促進と地域振興について</b>
	<p>○中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線事業化と地方創生の拠点となる重点道の駅（仮称）結の故郷の選定などに伴い、今後の地域振興などをどのように進めていくのか。</p> <p>○また、これに合わせた市内の体制整備を考えているのか。</p>
<b>4 農林業の振興について</b>	
<p>○国の「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく農政の大改革をどのように捉えているのか。また、これに合わせて大野市の農業振興をどのように進めていくのか。</p> <p>○木質バイオマス発電の稼働をにらみ、大野市の林業振興をどのように進めていくのか。</p>	
<b>5 子ども・子育て支援事業計画、高齢者福祉計画、第四次障害者計画などの進め方について</b>	
<p>○子ども・子育て支援事業計画の開始、新たな越前おおの高齢者福祉計画及び第六期介護保険事業計画の開始、第四次大野市障害者計画及び第四期大野市障害者福祉計画の開始など、それぞれどのように進めていくのか。</p> <p>○それぞれの計画の基本的な方針や特徴的なことがあればお示し願いたい。</p> <p>○平成 27 年度に策定予定の大野市地域福祉計画とこれらの計画との整合性をどのように図っていくのか。</p>	

質問者	質問概要
<p>（日本共産党大野市議団）</p> <p><b>野村</b></p>	<p><b>1 木質バイオマス発電の課題に対する市の考え方</b></p> <p>○木質バイオマス発電の課題のひとつは燃料供給 高浜は5,000kwから500kwに引き下げた。燃料木材確保が困難としている。 福井グリーンパワーも同じ課題を抱えていると思うがどのように対処しようとしているのか。</p>
<p><b>堀田（立志会）</b></p>	<p><b>1 地方創生について</b></p> <p>○地方版総合戦略の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように人口減少を食い止め、地域を元気にしていくかということに対し、来年度地方版総合戦略を策定するに当たっての思いや基本方針は。</li> <li>・地方創生の取り組みを実効性のあるものにするため、県との緊密な連携が必要不可欠と考える。内容についての整合性や役割分担など今後話し合いや情報共有が重要であると考えているが見解は。</li> <li>・重要な指標（目標）に関する部分については、十分に調査や分析をし、市民に説明し理解を求めていく必要があると考えるが見解は。</li> </ul> <p>○中部縦貫自動車道について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「重点」道の駅（仮称）結の故郷の完成予定は2020年度だが中部縦貫自動車道の全線開通とのタイムラグがどれくらいあるのか。</li> </ul> <p>○越前おおのまるごと道の駅ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの審議会、パブリックコメントなどという手段とは別に、一般の地域住民や子育て世帯などの若い世代、高校生など将来を担う子どもたち、また地元企業や各種団体など、幅広い層や立場の人から意見を聞く場や、機会を設けては。</li> </ul> <p><b>2 地域の人口の在り方と地域を担う子どもたちの育成について</b></p> <p>○地域の人口の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方人口ビジョンを策定していかなければならないと思うが、策定に当たっての現時点での基本的な考え方や、スケジュールなどについては。</li> </ul> <p>○地域を担う子どもたちの育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、地方創生を進めていくためには、これからの人材の育成に加え、地域の魅力等を理解し、愛着を持つ人材や、地域活性化に貢献する人材の育成なども必要と考えるが、地方創生を担っていくための人材育成の必要性について、課題を含め基本的な考えは。</li> </ul> <p><b>3 越前おおの食ブランド化について</b></p> <p>○果樹を地域資源として創出し、まちおこしをすることができないか。その見解は。</p> <p><b>4 鳥獣害対策について</b></p> <p>○放置された果実等を、小中学生等のボランティア活動で収穫し、それを生徒たちが朝市等で販売することは。</p>

質問者	質問概要
<p style="text-align: center;"> <b>榮</b>  <b>（日本共産党大野市議団）</b> </p>	<p><b>1 地方創生について</b></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○人口減少・地方衰退の原因をどのように捉えているのか。 この原因の探求なくしては、打つ手は一過性のものになるのではないのか。</p> <p>○人口減少にどのような対策を講じ、成果は上がっているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援策</li> <li>・呼び込み型企业誘致でなく、地域資源を活用した産業育成</li> <li>・小規模・家族農林業で生活できるための農林業支援策の視点</li> </ul> <p>○道の駅を大野東インター近くに建設するとしているが、和泉地区朝日にある現道の道の駅はどうするのか。視野にあるのか。</p>
	<p><b>2 平成26年（行ツ）第452号・（行ヒ）第504号の判決について</b></p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○今回の大野市の固定資産税未徴収は違法であるとの判決がこのほど決定したが、市民への報告義務はどうするのか。報道では「結果が届いていないのでコメントできない」だったが。</p> <p>○FW社への課税準備状況はどのようになっているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課税遅延に伴う損害金はどうするのか。</li> <li>・上告費用は予算化していないと聞くがどうするのか。</li> </ul> <p>○市長の責任と損害弁償</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査請求に対する結果にも重大な問題があった。委員の知見に疑問が生じ、市長の任命責任も問われる。</li> </ul> <p>○裁判過程で明らかになったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致の在り方はどうか。</li> <li>・文書管理の問題点はどうか。</li> </ul>

質問者	質問概要
廣 田  （立志会）	<p><b>1 越前おおのブランド戦略について</b></p> <p>○道の駅「（仮称）結の故郷」をブランド情報発信窓口とする「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」は越前おおのブランド戦略の広報戦略、項目2、地域ブランド・デザイン戦略の核となるものと考えられるが、基本戦略1、結の故郷のストーリー及び基本戦略2、越前おおの「知る」から「関係づくり」までをシナリオ化するシナリオとはどのようなものか聞きたい。</p> <p>○越前おおのブランド戦略、分野別ブランド化戦略の項目3、自然環境のブランド化戦略、基本戦略2、食・地場産品と結の故郷を結び付けるとは、「越前おおの型」食・農業・農村ビジョンの基本方針3、農産物の総ブランド化に該当すると思われるがどのような結び付けを考えているのか聞きたい。</p> <p>○京野菜や加賀野菜など地域名でのブランド化は必要だと考えるが、上庄里芋や中野ナスのブランド名を核にし、他自治体に先駆け「結野菜（仮称）」のようなブランド名の発信が必要だと考えるが所見を聞きたい。</p>
	<p><b>2 人口減少対策について</b></p> <p>○中心市街地活性化における女性起業家・女性経営者支援事業と中心市街地店舗再生事業は、定住促進に関わる制度・奨励金及び助成と併用することが可能なのか。また中心市街地店舗再生事業の現状と女性起業家・女性経営者支援事業も含めた開業及び運営支援はあるのか聞きたい。</p> <p>○公共施設再編計画での新たな施設としての利用とは、「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」における休憩・情報発信機能や、地域の連携機能として「世代間結づくり事業」を発展させた、地域間交流などの拠点として利用することも考えられるが、方針を聞きたい。</p> <p>○他市では既にホームページがスマートフォン対応となっており、実際に使いやすい構成となっている。この情報化時代において、定住や移住を考慮される方に、いつでも・どこでも大野市を知っていただく環境は必要不可欠と思われるが、今後の対応について聞きたい。</p>

質問者	質問概要
高田（創生おおの）	<p><b>1 公共施設について</b></p> <p>○平成 25 年度に策定された公共施設再編方針（3 月）並びに再編計画（10 月）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況は。</li> <li>・市民へのアピールの方法は。</li> </ul>
	<p><b>2 新庁舎の維持管理費について</b></p> <p>○もくろみどおりか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電の効果</li> <li>・薪ストーブの維持費と効果</li> <li>・旧庁舎と比較しメンテナンス費用はどうか。</li> </ul>
	<p><b>3 地酒で乾杯を推進する条例について</b></p> <p>○当初予算 60 万円の内容</p> <p>○市外へのアピールについて</p> <p>○生産者、消費者（料飲店含む）、商工会議所など関係者（関係機関）による協議会等の設置を図ることは可能か。</p>
松原（新生おおの）	<p><b>1 「結の故郷 越前おおの」づくりについて</b></p> <p>○「結の故郷」づくりの心構え、相手の気持ちを考える、研修会、講習会など内面的なことはほぼ完成に近づいたと感じているが、今後どのような方向を考えているのか聞きたい。</p> <p>○今後の企業誘致計画を聞きたい。</p>
	<p><b>2 ALT（国際理解教育推進員）の方々と教育委員会との関係について</b></p> <p>○大野市でのALTの活動はどのようなものなのか聞きたい。</p> <p>○大野市で採用しているALTの方と市内の小中学校教員との共同研修などは行っているのか聞きたい。</p> <p>○当初予算でALTを1名増員する予算になっているが、今後のALTと本市の英語教育の目標を聞きたい。</p>
	<p><b>3 大野市における災害発生の可能性について</b></p> <p>○災害発生予報や警報があるが、そのような時の大野市の対応計画はどのようになっているのか聞きたい。</p> <p>○防災訓練は本市に合った訓練をするべきだと考えるが、今後の方針を聞きたい。</p>

質問者	質問概要
<p>梅 林  (創生おおの)</p>	<p><b>1 人口減少を見据えた財政運営について</b></p>
	<p>○「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では女性の視点、活躍が不可欠であるとされているが、当初予算案にどのように反映させたか。 ○人口減少の進む中、当初予算案における公共下水道建設事業は適正と言えるのか。</p>
	<p><b>2 女性が輝き、活動する社会の実現と、女性の社会参画について</b></p>
	<p>○このたびの任期満了による市議会選挙において、女性の議席が1議席減ったことを市長としてどのように分析されるか。 ○審議会などの政策・方針決定の場への女性の参画の現状は。</p>
	<p><b>3 教育行政について</b></p>
<p>宮 澤  (創生おおの)</p>	<p>○道徳の小中学校の学習指導要領改正案が公表されたが、今後大野市としてはどのように対応していくのか。 ○小学生結文化伝承事業における、教育長の目指すものは何か。 ○小学生の一日保育体験の目的と、実施の概要は。</p>
	<p><b>4 湧水文化再生について</b></p>
	<p>○10月に本市を会場として開催される「日本地下水学会」は、市外参加者への大野市のPRのみならず、市民への湧水文化再生への更なる醸成につながるものと期待をするが、その概要と市民参画及び参加をどのように考えているのか。</p>
	<p><b>1 農業振興について</b></p>
	<p>○本市の基幹産業である農業の方向性、ビジョンをどのように考えるのか。 ○六次産業化を急ぐ必要があると考えるが、現状や取り組みはどのようなものか。</p>
<p><b>2 道路環境について</b></p>	
<p>○市道に関して整備や点検等はどのように考えているのか。 ○県道皿谷・大野線は市民が大きな期待を寄せているが、現状や今後の対応はどうか。</p>	
<p><b>3 うらら館について</b></p>	
<p>○現在うらら館は稼働できず、平成の湯等でお出かけほっとサロン事業が行われているが影響はないのか。 ○テニスコートもあり六呂師高原全体での観光への影響が考えられるが、現状と対応についての考えを聞きたい。</p>	

一般質問

3月11日（水） 午後

質問者	質問概要
<p>藤 堂 （公明党）</p>	<p><b>1 地方創生の取り組みに係る市長の政治理念について</b></p> <hr/> <p>○地方創生の取り組みに係る市長の政治理念を聞きたい。                  ○地方創生・人口減少対策等総合戦略策定について、基本的な考え方を聞きたい。                  ○㈱電通との協定に係る整合性等について、どのように考えるのか聞きたい。                  ○地方創生に係る市民の意見や考え方をどのように取り入れるのか聞きたい。</p> <p><b>2 教育問題について</b></p> <hr/> <p>○県内 17 市町の議会における市民憲章、教育理念の唱和状況を聞きたい。                  ○全国学力テストの市町村別の公表状況を聞きたい。                  ○市の全国学力テストの公表形式が数値でなく、なぜ記号形式なのか聞きたい。                  ○教育委員会制度の改革による市の対応は今後どのようなようになるのか聞きたい。</p>
<p>（新生砂 おの おの）</p>	<p><b>1 人口減少対策について</b></p> <hr/> <p>○㈱電通の示す具体的な人口減少対策は。                  ○空き家の現状は。                  ○子育て支援策は。                  ○まちづくり会社の現状は。                  ○結の故郷奨学金貸与条例とは。                  ○人口減少対策と財源措置について。</p>